

千葉商科大学 プレスリリース

創立90周年記念事業

高校生12人が持続可能な社会づくりに提言 「第5回 全国高校生 環境スピーチコンテスト」

最優秀賞ほか各賞の結果発表

千葉商科大学(学長:原科幸彦)では、創立90周年記念事業として、全国の高校生を対象とした「第5回 全国高校生 環境スピーチコンテスト」の本選を9月23日(日・祝)に開催し、入賞者を決定しましたのでお知らせします。

- | | | |
|-------|------------------------|-------------------------|
| ◆最優秀賞 | 阿部好葉さん(市立札幌旭丘高校/北海道) | 「自然エネルギーと私たちの未来」 |
| ◆優秀賞 | 黒川凜さん(聖和学院高校/神奈川県) | 「エネルギーのバトンタッチ」 |
| | 加藤空さん(城南特別支援学校高等部/東京都) | 「「あればいいな!」を実現したい」 |
| | 諸星水晶さん(秦野高校/神奈川県) | 「生命環境の保全のために、生命の力を借りよう」 |
| ◆特別賞 | 藤丸瑞希さん(中野工業高校/東京都) | 「エネルギー発電を小型化しよう」 |

<最優秀賞受賞者コメント>

冬の厄介者である雪が自然エネルギーとして活用されていることを知り、同じように大きな被害をもたらす地震も活用できないかと考えました。地震が頻繁に起こる日本ならではの試みですが、工夫次第で私たちの暮らしは豊かで地球にやさしい未来になるのではないかと思います、発表しました。

<講評>

どのスピーチにも夢があり、聞いていてワクワクする内容ばかりでした。また、未来に向けてマイナス面をプラスへ変えていくといった発想が多くありました。中でも審査員を驚かせたのは最優秀賞の阿部さんの「地震のエネルギーを活用できるのではないか」という問題提起。地震のエネルギーがどう活用ができるかはイメージが湧きませんでした。巨大な地震のエネルギーが大きな被害をもたらすのだから、そのエネルギーをなんとかうまく使えないかという発想はとてもすばらしいと思います。



ー「第5回 全国高校生 環境スピーチコンテスト」概要ー

2018年7月17日から8月17日の期間で、環境に関心のある高校生を対象に「自然エネルギーと私たちの未来」、「持続可能な暮らしのために、今、私たちができること」という2つのテーマで原稿を募集しました。全国から53件の応募があり、厳正なる審査の結果、選ばれた12名が本選に出場してスピーチしました。

本学は2018年度に電力、2020年度にはガスを含むすべてのエネルギーにおいて、日本初の「自然エネルギー100%大学」をめざすことを表明し、千葉県野田市に所有するメガソーラー発電所等の発電量と、大学で消費するエネルギー量を同量とすることに取り組んでいます。

千葉商科大学自然エネルギー率(電力) **91.4%**(2017年9月~2018年8月)

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター

〒272-8512 市川市国府台1-3-1 TEL: 047-373-9968 E-mail: p-info@cuc.ac.jp

90th
高徳の実業人を創る。
千葉商科大学創立90周年

CUC
Chiba University of Commerce

千葉商科大学

www.cuc.ac.jp